

## ことばのテーブル映像シリーズ 「10秒映画 第2集」

### 解 説

ことばのテーブル映像シリーズ「10秒映画:第2集」をお買い上げありがとうございます。この映像集は、ことばや認識の学習教材として作成されたものです。10秒から20秒程度のショートフィルムを素材として、作品概念や叙述概念、表現能力、題材・質問関係の理解などの育成を目的としています。

#### 【映像の視聴方法について】

##### DVDプレーヤーでの操作方法

1. ディスクをプレーヤーに挿入し、再生ボタンでスタートしてください。
2. メニュー画面でお好みのコンテンツを選び、決定ボタンで内容を表示させます。

##### PCでの操作方法

1. DVDドライブに、ディスクを挿入してください。
2. 自動再生のダイアログが出る場合、PCにインストールされているDVD再生ソフトでの再生を選択してください。自動再生のダイアログが出ない場合は、インストールされているDVD再生ソフトを起動し、再生してください。
3. メニュー画面でお好みのコンテンツを選び、決定ボタンで内容を表示させます。

##### ※スライド資料の操作方法

このスライドは、1スライドごとに停止するので、次ボタン(▶▶)を押し、次のスライドを表示させます。また、早送りボタン(Windows Media Playerの場合は次ボタンの長押し)での早送りが可能です。

スライドを終了するには、「Menu」ボタン(Windows Media Playerの場合は「DVD(メニュー)」「ルートメニュー」ボタン)を押すと、メニュー画面へ戻ります。

#### 【DVDの構成】

##### 1. 10秒映画(24編)

##### 2. 数の増減映像(18編)

算数文章題の学習教材として作成されたものです。数の増減をテーマとした映像が、減少・増加を1対として、収録されています。映像の文章化を通して、算数文章題の読み解きの前提となる、「語りの力」を養うことを目的としています。また、数量のテーマ性への気付きや、状況変化のイメージ形成も目的としています。

※学習会資料もご参照ください。

\*1、2とも、各タイトルとストーリーの文章化例については裏面の映像リストをご参照ください。

#### 3. 資料

##### ①10秒映画の学習方法

10秒映画学習にあたってのスライドによる解説資料です。

##### ②ことばのテーブル学習会スライド資料

- ◎キーワードから考えることばの学習(7)～語りについて考える～
- ◎キーワードから考えることばの学習(8)～算数文章題を考える～

\*10秒映画に関する学習会の資料です。

#### 【10秒映画の映像内容について】

##### 1. ストーリー性について

非常に短い映像ですが、ストーリー性を持たせています。「すると」ということばで表されるような展開を感じてもらえれば、と思います。ストーリーを設定した目的は、①作品概念の形成、②叙述における表現形式の学習、があげられます。

##### 2. 作品概念の形成

映像の視聴や文章表現化を通して、外在化された表現=作品としての認識を促すことができれば、と考えています。作品に対する主観性(評価や感想など)と客観性(共有認識や三人称的視点)の形成が、自分と他者の認識向上にもつながるものと思います。

##### 3. 叙述における表現形式の学習について

###### ①語りの視点について

映像の文章化については、さまざまな表現が可能ですが、文章化例(裏面参照)で示したような、三人称的視点での語りを基本として考えました。人間が一部登場する場合も無主語で作成しています。(例:「ハンカチでリンゴを隠しました」)

###### ②使用される語彙について

各映像ごとに、キーとなる名詞・動詞・形容詞があり、語彙学習の目的があります。(例: No.3「目覚まし時計」 時計・逆さま／鳴る・叩く・止まる)とくに動詞については、状況の変化を表す語(「出る」「なる」等)や、自動詞・他動詞の適切な使用が重要となります。(例:「葉っぱが重なっていました。」「紙飛行機を飛ばしました。」)

###### ③文法表現について




②とも共通しますが、状況変化を表す表現が重要となります。的確な叙述のためには、過去形・完了形などの時制や、～ている・～ていくなどのアスペクト表現、「出てくる」「回り出す」などの複合動詞の使いこなしが求められます。

#### 【視聴解学習について】

読解・聴解に対して、映像の理解を表す適切な用語がないため、「視聴解」と名づけています。映像内容についての質問や、プロセスの再現(類似した事物を用いて過程を再現させる)などによって、文字未習得段階の子ども(=読解ができない)や、表出言語に未熟さが強い子ども(=ことばで理解を表せない)の評価と学習を行う目的があります。映像(作品)の共有認識を基盤として、「題材⇄質問」構造の洞察を促したいと考えています。

★以上、10秒映画の製作意図も含めて、記述しました。子どもといっしょに、画面を覗き込んで、楽しんでいただければ幸いです。

◀葛西ことばのテーブル 三好純太▶

規格	地域・信号方式	映像サイズ	コピーガード	発行日	製品番号	視聴可能環境
 DVD VIDEO 片面一層	 ALL NTSC	 4:3 SDビデオ	複製不可	2014.00.00	kkt-00210	DVDプレーヤーあるいは、DVDドライブとDVD再生ソフトを備えたパーソナルコンピュータ

葛西ことばのテーブルは、発達障害や言語障害の方の学習室です。  
この教材集に対するご意見・ご感想をお聞かせください。

#### 企画・制作：言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル

●制作責任者:三好純太 ●制作スタッフ:島本佐保  
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-1-3 第6山秀ビル301  
TEL/FAX: (03)3687-3158 e-mail: qyt07571@nifty.ne.jp